

令和2年版 消防年報



人吉下球磨消防組合

は し が き

この年報は、人吉下球磨消防組合の令和元年度中における消防業務に関する諸般の状況を収録し、将来の消防行政運営に広く活用していただくための資料として編集したものです。

なお、内容については、主に令和2年4月1日をもって収録しており、一部これらによらないものについては、当該各表に年月日を記載しています。

令和2年10月

人吉下球磨消防組合消防本部

◆ 目 次

◆ 一目統計	i
--------	---

○ 消防の現況

◆ 管内の概要、管内面積・人口及び世帯数	1
◆ 消防本部・署の配置及び管轄図・消防機関所在地	2
◆ 構成市町村の概況	3
◆ 令和元年度の主要行事	5
◆ 消防の沿革	11
◆ 消防組合の組織	15
◆ 消防本部及び署の組織	16
◆ 消防本部及び消防署の事務分掌	17
◆ 職員の配置状況と階級別現員	21
◆ 勤続年数別職員数	22
◆ 年齢別職員数	23
◆ 消防予算	24
◆ 職員の教育実施状況	25
◆ 職員の特殊技能・資格取得状況	26

○ 消防活動

◆ 消防用車両配置状況	27
◆ 消防用特殊資機材保有状況	28
◆ 消防水利	30
◆ 救助業務	31
◆ 火災統計	33
◆ 救急統計	36
◆ 通信関係	41

○ 予防業務

◆ 防火対象物現況	46
◆ 管内中高層建築物現況	47
◆ 消防法令に基づく各種届出、防火管理者講習会実施状況	48
◆ 建築物の同意件数、危険物施設・規制事務状況	49

○ 消防団 幼少年防火委員会

◆ 消防団の組織及び現有勢力、年齢別及び在職年数別消防団員数 . . .	50
◆ 幼年消防クラブの現況	51
◆ 保育園防火クラブ・少年消防クラブの現況	52
◆ 全国統一防火標語	53

◆ 一目統計

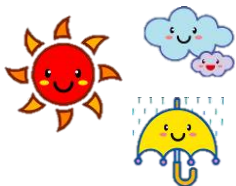
令和2年4月1日現在

自然環境

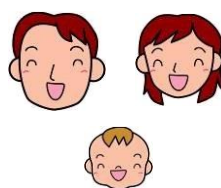
人口・世帯



管内面積
971.82km²



気象
年平均気温 15.5℃
年間降雨量 2390.0mm



人口
54,667人



世帯数
24,051世帯

消防予算

構成・人事



消防予算
10億4,221万円



署所
消防本部 1
署 1 分署 4



職員数
定数 110人
実数 109人



消防団員数
定数1,863人
実数1,589人

機械・施設



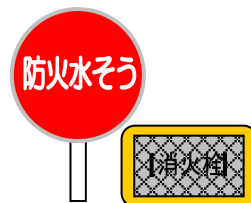
消防車等
ポンプ車 1台
タンク車 6台



特殊車両等
はしご車 1台
救助工作車 1台
その他車両 24台



救急車等
高規格救急車7台



消防水利
消火栓(基準) 574基
消火栓(基準外) 634基
防火水槽 900基

火救 災急

(平成31年統計)



火災件数 20件
死者 0人
負傷者 4人
損害額 9,756(千円)



救急出動
出動件数2,832件
搬送人員2,670人



救助出動
出動件数 38件
活動件数 26件



その他出動
出動件数 339件
捜索 3件

予 防



防火対象物数
2,644件



危険物施設数
製造所 1件
貯蔵所 126件
取扱所 88件



防火対象物定期点検
報告制度
特別認定事業所 4件
定期点検報告事業所54件



防火クラブ
幼年消防 25団体
少年消防 1団体

消防の現況

◆ 管内の概要

人吉下球磨消防本部は、熊本県の最南部人吉市の、東経 130 度 44 分9秒、北緯 32 度 13分0秒に位置し、人吉市、錦町、相良村、五木村、山江村、球磨村の 1 市 1 町 4 村をもって構成しています。

地理的空間は、南九州の三県庁所在地（鹿児島市・宮崎市・熊本市）のほぼ中心に位置し、南は宮崎県と鹿児島県に隣接する広大な山地を有する盆地であり、国見岳、市房山を主峰とする山塊に囲まれ、これらの山岳から集まった水は日本三大急流の一つ清流「球磨川」をなし、人吉盆地を貫流し、延長 100 キロメートルの流域を経て八代湾に注いでいます。

当消防組合管内には、南北に貫く九州自動車道があり、八代 IC と人吉 IC の区間は 1989 年に開通し、IC 区間で日本一長く、九州で最長のトンネル「肥後トンネル」と熊本、宮崎を跨ぐ「加久藤トンネル」を含んだえびの～八代間を上下線方式により管轄しています。また、令和元年 8 月には人吉 IC とえびの IC の間に「人吉球磨スマートインターチェンジ」が開通しました。

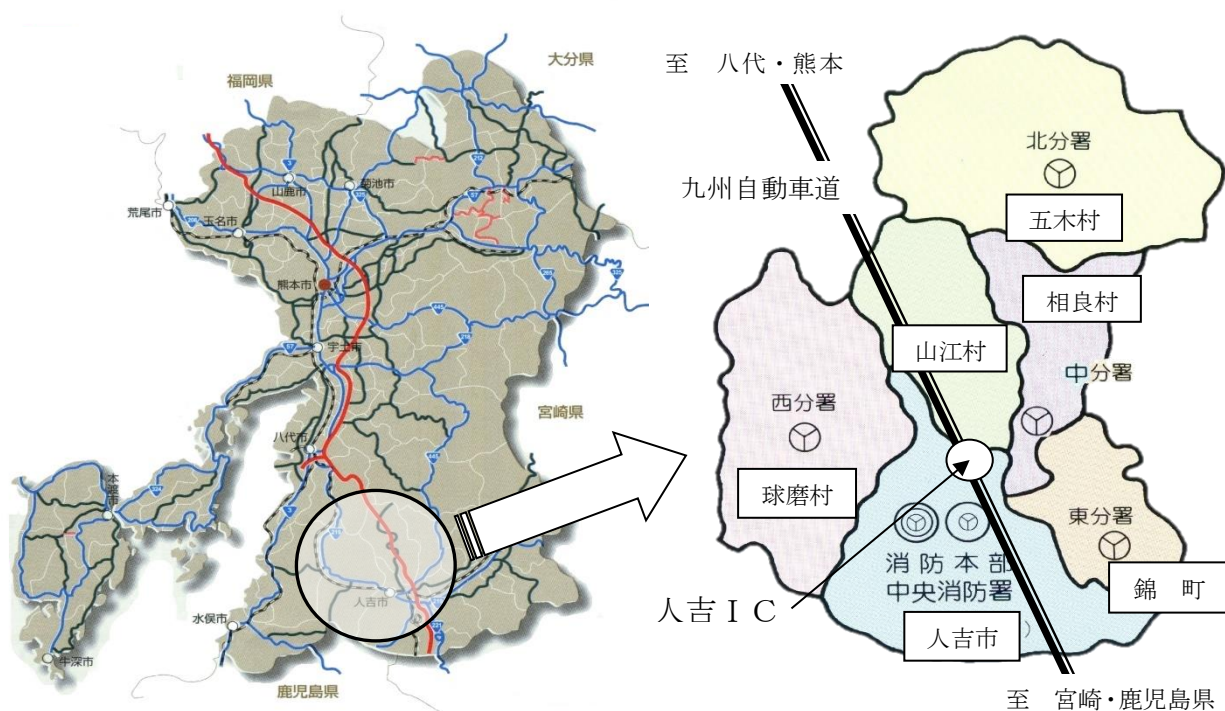


◆ 管内面積・人口及び世帯数

	面 積 (km ²)	人 口 (人)	国調人口 (人)	世 帯 数 (戸)
人吉市	210.55	31,867	33,880	15,447
錦 町	85.04	10,443	10,766	3,835
相良村	94.54	4,326	4,468	1,627
五木村	252.92	1,058	1,055	497
山江村	121.19	3,433	3,422	1,209
球磨村	207.58	3,540	3,698	1,436
計	971.82	54,667	57,289	24,051

※ 令和 2 年 4 月 1 日現在
国勢調査は平成 27 年 10 月 1 日現在（確定値）の数字

◆ 消防本部・署の配置及び管轄図・消防機関所在地



	所在地	庁舎の構造 及び建築年	延床面積		敷地面積
消防本部 中央消防署	〒868-0083 熊本県人吉市下林町 1 番地	鉄骨・ 鉄筋コンクリート 3 階 (平成元年)	2,908㎡ (1F) (2F) (副塔 3F) (主塔 6F) その他	1,260 1,226 36 189 197	7,240 ㎡
東 分 署	〒868-0302 熊本県球磨郡錦町 大字一武 1587 番地 17	鉄筋コンクリート 平屋建 (昭和 50 年)	233.90 ㎡		1,062 ㎡
西 分 署	〒869-6403 熊本県球磨郡球磨村 大字一勝地甲 77 番地 3	鉄筋コンクリート 平屋建 (昭和 50 年)	233.90 ㎡		1,149 ㎡
北 分 署	〒868-0201 熊本県球磨郡五木村 甲 2672 番地 80	鉄骨防火 サイディング張 平屋建 (平成 22 年)	270.25 ㎡		1,853.53 ㎡
中 分 署	〒868-0094 熊本県球磨郡相良村 大字深水 2493 番地 1	鉄筋コンクリート 平屋建 (平成元年)	210.00 ㎡		1,154 ㎡

◆ 構成市町村の概況

ひとよしし
人吉市



〒868-8601
熊本県人吉市
下城本町 1578 番地 1

Tel
0966 (22) 2111



青井阿蘇神社と球磨川下り

人吉市は熊本県の最南部に位置しており、南は鹿児島、宮崎の両県に接しています。

九州の小京都と呼ばれ、「球磨川くだり」「人吉温泉」「球磨焼酎」を楽しめる観光地として古くから親しまれ、また近年では、球磨川でのラフティングが大きな人気を集めています。

また、市内の青井阿蘇神社が県内の建造物では初めて国宝に指定されたことに続き、JR肥薩線「SL人吉号」の復活や「特急かわせみやせみ」の運行など、盛り上がりを見せています。

にしきまち
錦町



〒868-0302
熊本県球磨郡錦町
大字一武 1587 番地

Tel
0966 (38) 1111



球磨川沿いのツクシイバラ

錦町は熊本県の南部に位置しており、町内の中心部を国道219号線が東西に横断し、国道と並行して北寄りに約2km隔てて日本三大急流のひとつである「球磨川」が西流しています。初夏になると、球磨川河川敷には町花である『ツクシイバラ』が咲き乱れます。

本町の基幹産業は農業であり、南部の山麓地帯は『梨・桃』、北部の丘陵地帯は『茶』の産地となっており、中央部では球磨川が育んだ肥沃な大地からとれる良質な米が生産されています。

さがらむら
相良村



〒868-0094
熊本県球磨郡相良村
大字深水 2500 番地 1

Tel
0966 (35) 0211



清流川辺川と雨宮の森

相良村は、球磨郡のほぼ中央に位置し、清流「川辺川」が北から南へ貫流する、豊かな自然と古の先人が残してくれた歴史と伝統が息づく山紫水明の農山村です。

県内一の生産量を誇る「茶」等、農林業が主産業であり、「水と緑を活かした潤いある村づくり」に取り組んでいます。

また、緑に包まれ澄んだ流れの川辺川をはじめ、四季折々の豊かな相良村の表情を1年中楽しむことができます。

いつきむら

五木村



〒868-0201
熊本県球磨郡五木村
甲 2672 番地 7

Tel
0966 (37) 2211



カヤックとバンジージャンプ

五木村は、熊本県の南部に位置し、村のほぼ中央を12年連続水質日本一の清流「川辺川」が貫流し、四季折々の自然に彩られたのどかな村です。全国的に有名な「五木の子守唄」の発祥の地としても知られています。

近年は地域資源を活かしたバンジージャンプ・カヤック・ツリークライミング・サイクリング等が楽しめる「アウトドアフロンティア」としても注目されています。

やまえむら

山江村



〒868-0092
熊本県球磨郡山江村
大字山田甲 1356 番地 1

Tel
0966 (23) 3111



山江村特産品の栗とボンネットバスマロン号

のどかな田園風景と緑豊かな山々に囲まれた自然あふれる農山村です。

農地を潤す豊かな山田川と美しく澄んだ清流の万江川を有し、肥沃な土地柄で大変おいしい米、野菜、果樹等が育ちます。

特に、万江川はヤマメや鮎などが生息する九州でも有数の清流であるとともに、盆地特有の気候を利用して良質な栗の栽培に力を入れており、トップブランド化を図っています。

また、相良三十三観音の一つである「合戦峰観音堂」をはじめ、国指定重要文化財「山田大王神社」や産業考古学推薦産業遺産「ボンネットバス」など多くの歴史的資源に恵まれています。

くまむら

球磨村



〒869-6401
熊本県球磨郡球磨村
大字渡丙 1730 番地

Tel
0966 (32) 1111

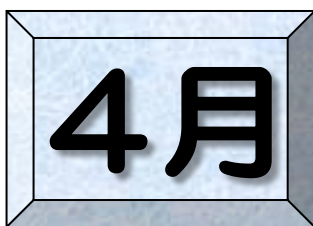


球泉洞と球磨川と松谷棚田

日本三大急流「球磨川」の中流部に位置し、スリル満点の「くま川下り」と「ラフティング」の聖地です。その支流には、日本昔話に出てくるような美しい棚田が数多く点在し、日本の原風景そのもの。特に、「松谷棚田」は文化庁の重要文化的景観のパンフレットの表紙を飾り、「鬼ノ口棚田」は規則的な区画と堅牢な石積みが見事で、共に「日本の棚田百選」に選ばれている。

また、3億年の自然の芸術品が眠る九州最大級の鍾乳洞「球泉洞」は恋愛や縁結びのパワースポット「恋人の聖地」となっている。

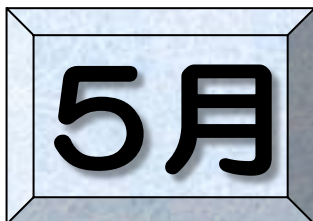
◆ 令和元年度の主要行事



- 7日 西瀬少年消防クラブ入退会式
- 11日 熊本県消防長会春季総会
- 12日 第42回熊本県消防職員意見発表会
- 17日 人吉下球磨地区危険物安全協会表彰式及び定例総会
- 25日 第73回全国消防長会九州支部総会
- 26日 第42回九州地区消防職員意見発表会



4月通常点検



- 27日 第45回熊本県消防救助技術大会（陸上の部）
- 29日 第71回全国消防長会総会
- 31日 平成31年度熊本県殉職者慰霊祭



救助技術大会（陸上の部）

6月

- 4日 移動タンク貯蔵所立入検査 ～6日
- 14日 平成31年度人吉下球磨幼年婦人防火委員会総会
- 20日 指揮2号車配備
- 25日 第65回熊本県救急教育セミナー
- 28日 第45回熊本県消防救助技術（水上の部）



救助技術大会（水上の部）

7月

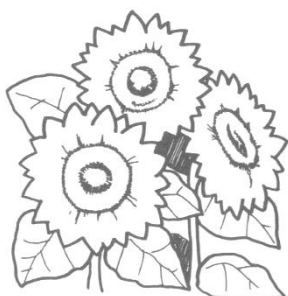
- 3日 人吉下球磨地域MC協議会
- 4日 城南ブロック消防本部協議会（警防・通信担当課長会）
- 19日 第48回九州地区消防救助技術指導会
- 23日 城南ブロック消防本部協議会（予防課長会）
- 24日 城南ブロック消防本部協議会（総務課長会）



署内救急シミュレーション

8月

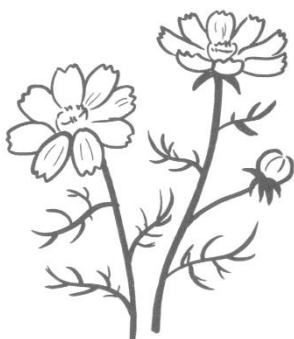
- 8日 西瀬少年消防クラブ消防学習
- 18日 第6回熊本県女性消防操法大会
- 22日 令和元年度熊本県消防長会予防・危険物担当課長会議
- 25日 第48回全国消防救助技術大会



第6回熊本県女性消防操法大会

9月

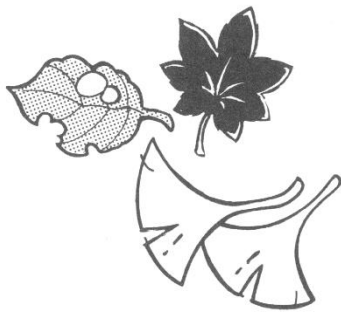
- 7日 救急フェア 2019
- 12日 熊本県消防長会（警防・通信担当課長会議） ～13日
- 22日 職員採用 1次試験
- 26日 甲種防火管理新規講習 ～27日
- 26日 熊本県消防長会（救急担当課長会議） ～27日



人吉市防災訓練

10月

- 10日 熊本県消防長会秋季総会
- 23日 鉄塔上作業員救出合同訓練
- 30日 第14回熊本県下大規模災害対応訓練



鉄塔上作業員救出合同訓練

11月

- 5日 職員採用2次試験
- 5日 移動タンク貯蔵所立入検査 R219
- 9日 秋季全国火災予防運動 ～15日
- 11日 幼年消防クラブ防火パレード
- 11日 肥後トンネル総合防災訓練
- 12日 屋内消火栓操法指導会
- 13日 久七トンネル総合防災訓練
- 21日 第66回熊本県救急教育セミナー
- 24日 熊本県総合防災訓練



第66回熊本県救急教育セミナー

12月

6日 第1回警防技術大会
10日 ボランティア活動（福川清掃） ～12日
27日 指揮1号車配備
28日 年末警戒 ～30日



警防技術大会

1月

5日 消防団出初式（錦町・山江村・球磨村・五木村）
12日 消防団出初式（人吉市・相良村）
26日 職員採用1次試験
30日 消防活動用重機配備



出初式（錦町）

2月

- 2日 令和元年度熊本県消防長会第2回臨時会
- 10日 人吉下球磨消防連絡協議会・住宅防火対策推進協議会春季会議
- 14日 管理者会議
- 19日 職員採用2次試験
- 26日 防災ヘリ合同訓練（山江村）



防災ヘリ合同訓練

3月

- 1日 春季全国火災予防運動 ～7日
- 2日 議会全員協議会・令和2年度第1回議会定例会
- 6日 平成31年度人吉下球磨消防組合表彰式
- 31日 退任式



平成31年度人吉下球磨消防組合表彰式

◆ 消防の沿革

◇ 消防組合前の沿革

昭和22年	12月	消防組織法制定公布
昭和23年	4月	人吉市役所総務課内に消防係を新設（職員数1名） 水槽付消防ポンプ車購入、職員新規採用1名（職員数2名）
昭和24年	1月	常備消防発足、職員新規採用6名（職員数8名）
昭和26年	1月	消防ポンプ車購入（2号車）、職員新規採用8名（職員数16名）
昭和27年	7月	人吉市消防本部設置、初代消防長 豊永芳太郎 就任（市助役兼務）
昭和28年	6月	消防ポンプ車購入（3号車）
昭和30年	4月	職員新規採用2名（職員数18名）
	9月	第2代消防長 内藤四郎 就任（市助役兼務）
昭和33年	12月	職員新規採用3名（職員数21名）
昭和34年	9月	人吉市消防署設置
	12月	職員新規採用6名（職員数27名）
昭和35年	6月	職員新規採用4名（職員数31名）
	9月	小型動力ポンプ購入
昭和36年	10月	条例改正により定員38名となる
	12月	第3代消防長 久保田槻生 就任（専任消防長）、司令車購入
昭和37年	1月	消防庁舎新築落成（人吉市新町16番地）
	3月	消防無線設置（基地局1・移動局1）
昭和39年	1月	職員欠員補充2名
	3月	消防ポンプ車（ニッサン）日本損害保険協会から寄贈
	4月	職員新規採用1名（職員数32名）
	7月	職員新規採用1名（職員数33名）
昭和40年	9月	救急車（B級）人吉ライオンズクラブから寄贈
昭和42年	12月	職員新規採用5名（職員数38名）、消防ポンプ車更新
昭和43年	4月	職員欠員補充1名
昭和44年	9月	第4代消防長 鳥飼雄吉 就任（市助役兼務）
昭和45年	1月	職員欠員補充2名
	4月	職員欠員補充2名
	11月	水槽付消防ポンプ車（1号車）更新
昭和46年	4月	救急車（A級）日本損害保険協会から寄贈
		職員新規採用3名（職員数41名）
	11月	消防無線狭帯化に伴い無線機を更新
昭和47年	1月	職員新規採用1名（職員数42名）
	9月	消防ポンプ車（3号車）更新
昭和48年	5月	職員欠員補充1名
	10月	救急車（ニッサン）購入

◇ 消防組合の沿革

昭和49年	4月	人吉下球磨消防組合消防本部・中央消防署発足（人吉市から職員42名、消防車5台、救急車2台） 初代消防長 上原 茂 就任
		職員新規採用12名（職員数54名）
	7月	職員新規採用12名（職員数66名） 中央消防署西分署（球磨村）仮庁舎にて業務開始、消防車（球磨村から譲渡）1台・西分署職員数7名 司令車（三菱コルト）一部負担、県消防協会から寄贈、中央消防署に配備
	10月	中央消防署東分署（錦町）仮庁舎にて業務開始、消防車（錦町から譲渡）1台・東分署職員数7名 中央消防署北分署（五木村）仮庁舎にて業務開始、積載車（五木村から譲渡）1台・北分署職員数7名
	12月	救急車（ニッサンキャラバン2B）日本自動車工業会から寄贈、北分署に配備・救急業務開始
昭和50年	1月	東・西分署新庁舎落成、新庁舎にて業務開始
		救急車（ニッサンキャラバン2B）購入、西分署に配備・救急業務開始
	3月	救急車（ニッサンキャラバン2B）日本損害保険協会から寄贈、東分署に配備・救急業務開始
	4月	職員新規採用13名（職員数79名）
	12月	広報車（ニッサングロリア）購入、中央消防署に配備 梯子付消防ポンプ車（モリタ24 ^{リットル} 級）購入、中央消防署に配備
昭和51年	9月	水槽付ポンプ車（モリタ・三菱、水槽1.5 t）2台購入、東・西分署に配備
	10月	消防ポンプ車（日機・トヨタ）日本損害保険協会から寄贈、中央消防署に配備
昭和52年	4月	第2代消防長 竹本 望 就任
	9月	救急車（ニッサンキャラバン2B）日本消防協会から寄贈、中央消防署に配備
	10月	広報車（ニッサンブルーバードGL1,600cc）2台購入、東・西分署に配備
	11月	消防ポンプ車（モリタ・三菱、水槽1.5 t）購入、北分署に配備
昭和52年	11月	北分署積載車を資機材搬送車に改造し、中央署に配備

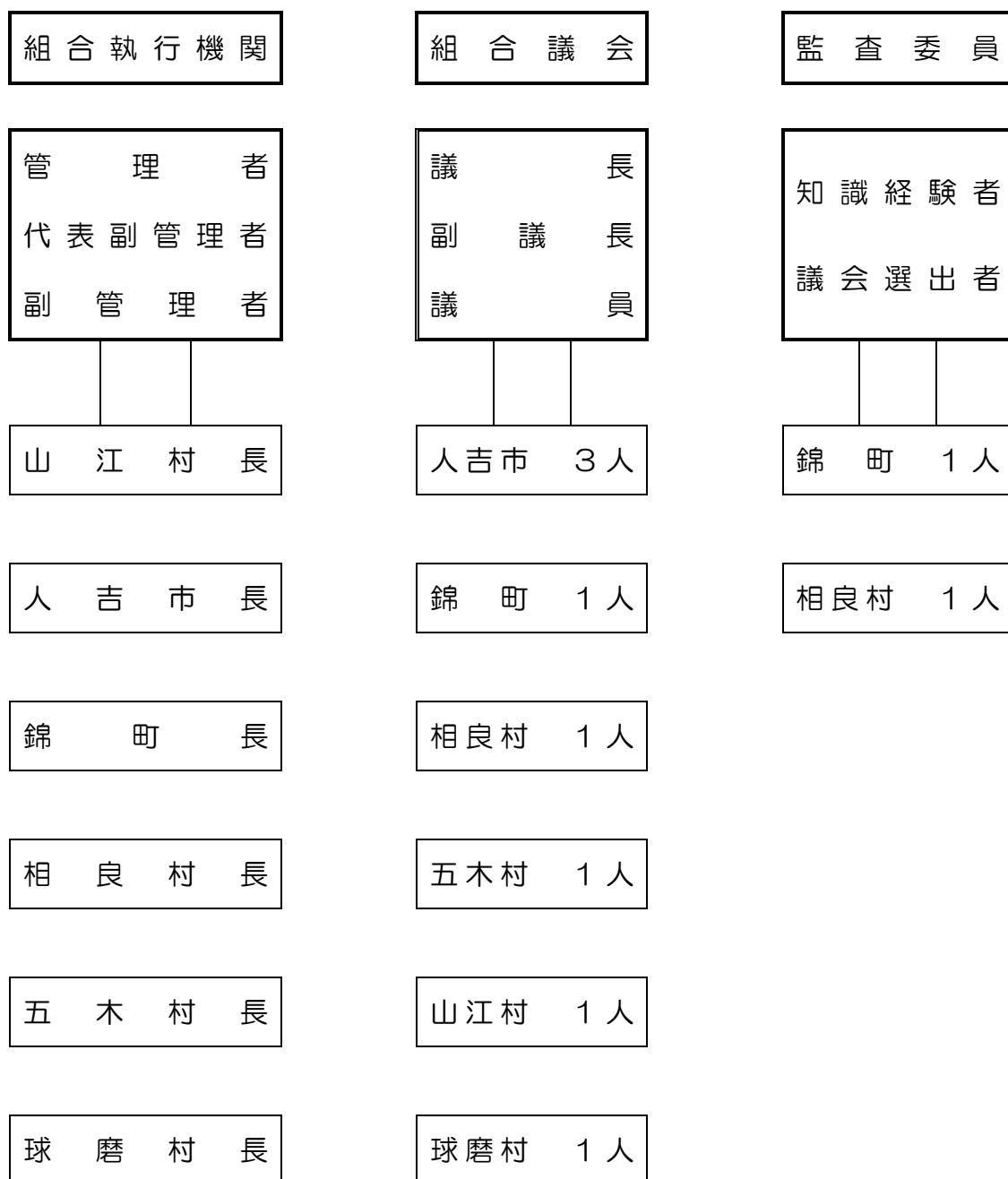
昭和53年	7月	消防ポンプ車（ニッサン）1台購入、中央消防署に配備
	10月	広報車（ニッサンブルーバードGL 1,600cc）北分署に配備
昭和54年	12月	査察広報車（トヨタマークII GL 1,800cc）消防本部に配備
昭和55年	3月	救急車（ハイエース2B）県農協共済連から寄贈
	12月	救助工作車（日機）1台購入、中央消防署に配備
昭和56年	4月	職員1名採用
	11月	広報車（トヨタマークII 乗用車）購入、消防本部に配備 防火広報車（トヨタ9人乗り）（財）日本防火協会から寄贈
昭和57年	3月	消防本部の組織に関する規則改正、予防係を予防課に昇格
	4月	消防組合消防職員定数条例改正、職員定数85人とする
	6月	消防職員欠員補充1名、新規採用6名（職員数85名）
	9月	救急車（ニッサン2,000cc）日本消防協会から1台寄贈 北分署に配備
	11月	水槽付ポンプ車（ドライケミカル・日野、水槽2 t）中央署に配備
昭和58年	11月	人吉下球磨幼年消防クラブ連絡協議会設立（15団体、1,250人）
昭和59年	3月	救急車（トヨタ2B）西分署に配備
	9月	第3代消防長 山本澄雄 就任
昭和60年	3月	救急車（トヨタ2B）東分署に配備
	4月	救急車（トヨタ2B）県農協共済連から寄贈
	6月	人員搬送車（ニッサンマイクロバス3,300cc）サンロードから寄贈、中央署に配備
	9月	第4代消防長 岩本康資 就任
	11月	消防ポンプ車（日本ドライケミカル・三菱）中央署に配備 人吉下球磨幼年消防大会開催（18団体 1,398人）
昭和61年	4月	職員欠員補充2名
昭和62年	1月	指揮車（ハイエースバン2,400cc）中央署に配備
昭和62年	8月	救急車（トヨタ2B）日本消防協会から寄贈、中央署に配備
昭和63年	4月	職員欠員補充2名
平成元年	4月	職員欠員補充1名 消防庁舎新築移転（人吉市下林町1番地）業務開始 相良分遣所開設（分遣所職員数8名体制）、3課1室に機構改革
	8月	消防緊急情報システム（Ⅱ型）導入
	10月	消防組合消防職員定数条例改正、職員定数91名 職員新規採用6名（職員数91名）
	12月	九州縦貫高速自動車道開通 救急業務開始
平成2年	4月	救急車（トヨタ2B）（有）岩下産業から寄贈 中央署に配備 職員欠員補充1名
	11月	第1回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催（毎年開催）
平成3年	12月	事務連絡車（ニッサングロリア1,990cc）購入、消防本部に配備
	1月	査察車（トヨタカローラ1,290cc）購入、消防本部に配備
	3月	救急車（ニッサン2B）安田生命から寄贈、相良分遣所に配備
	4月	水槽付ポンプ車（A-Ⅱ型・日本ドライケミカル三菱）東分署に配備 職員欠員補充1名
	8月	水槽付ポンプ車（吉谷機械製作所・いすゞ1.5 t）日本損害保険協会から 寄贈 西分署に配備
	10月	広報車（ニッサンアベニール1,590cc）購入、東分署に配備
平成4年	11月	職員欠員補充1名
	12月	広報車（ニッサンADワゴン 1,500cc）購入、西分署に配備
平成5年	2月	消防ポンプ車（A-Ⅱ型・いすゞ 3,600cc）北分署に配備
	3月	週40時間制勤務試行（隔日勤務者、8週16休）
	7月	完全週休2日制へ移行
平成6年	3月	高規格救急車（トヨタハイメディック4,000cc）中央署に配備
	6月	救急指導車（トヨタ4,000cc）岩下産業から寄贈、中央署に配備
	10月	消防組合発足20周年記念式典
平成7年	1月	第5代消防長 高橋昭三 就任
	2月	定数条例改正（91名を103名へ）
	3月	2部制勤務より3部制勤務へ移行 水槽付ポンプ車（A-Ⅱ型・日本ドライケミカル日野1.5 t）相良分遣所へ配備
	4月	機構改革（消防本部警防課を廃止し企画情報課に、中央署に消防課設置）
	5月	職員新規採用3名（職員数94名） 職員欠員補充1名
		中央署予備ポンプ車廃車、管内保育園へ寄贈
	7月	加久藤トンネル防災訓練・九州自動車道人吉～えびの間供用開始 救急車（ニッサン 3,000cc）JA共済連から寄贈 東分署に配備 東分署仮眠室全面改装（ベッド設置）
	9月	第1回「救急フェア '95」開催（毎年開催）

平成8年	12月	欠員補充1名（職員数94名） 事務連絡車（フォード1,800cc）（株）Misumiから寄贈
	2月	資機材搬送車（いすゞ 2tロング 4,300cc）中央署に配備
	3月	第1回消防組合出初式「消防メモリアルフェスタ '96」開催（平成19年第12回まで実施）
	4月	職員新規採用3名（職員数97名） 職員欠員補充3名
平成9年	5月	司令車更新（トヨタ 2,000cc）中央署に配備
	11月	西分署事務室及び仮眠室全面改装（ベッド設置）
	2月	職員欠員補充2名（職員数97名）
	3月	化学消防車購入（三菱 8,200cc A-II型 日本造機）中央署に配備 北分署救急車更新（トヨタ 3,000cc 2B） 高規格救急車（トヨタ ハイメディック）（社）日本損害保険協会から寄贈 更新による廃車救急車2台、管内医師会へ寄贈 高規格救急車（トヨタ ハイメディック）東分署へ配備 北分署庁舎新築移転（仮庁舎）
平成10年	4月	職員新規採用3名（職員数99名） 熊本県消防学校派遣教官出向1名 東京消防庁杉並消防署と友好協力関係確認書の取り交し
	7月	消防活動二輪車隊「レッドアタッカー」発足（ホンダ車5台） 職員欠員補充1名（職員数100名）
	4月	職員新規採用3名（職員数103名） 職員欠員補充1名
		熊本県消防学校派遣教官出向1名
平成11年	3月	梯子付消防自動車（モリタ30 ^汎 級）購入、中央消防署に配備
	4月	職員2名採用（職員数103名） 熊本県消防学校派遣教官出向1名
	6月	職員1名採用（職員数103名）
	11月	相良分遣所を中分署に昇格
平成12年	12月	水槽車（6,800 ^汎 ） 中央署に配備
	1月	職員1名採用（職員数103名）
	4月	職員2名 熊本県消防学校派遣教官出向1名
	5月	高規格救急車（ニッサンパラメディック）中分署へ配備
平成13年	10月	水槽付ポンプ車（三菱ファイター 8,200cc）北分署に配備
	4月	職員3名採用（職員数103名） 熊本県消防学校教官出向1名
	9月	熊本県知事救急功労賞表彰授与 救助工作車（日野レンジャー 8,000cc）中央署に配備
	11月	消防緊急指令装置（II型）更新 水槽付ポンプ車（日野レンジャー 8,000cc）日本損害保険協会から寄贈 中央署に配備
平成14年	4月	熊本県消防学校教官出向1名
平成15年	10月	第5回熊本県下消防大規模災害対応訓練（人吉市）
	4月	職員1名採用（職員数103名） 熊本県消防学校教官出向1名
	6月	職員欠員補充1名（職員数103名）
	9月	高規格救急車（トヨタハイメディック 3,400cc）西分署へ配備
平成16年	10月	職員欠員補充1名（職員数102名）
	3月	消防組合発足30周年記念式典
	4月	定数条例改正 105名
	5月	職員2名採用（職員数103名）
平成17年	1月	第6代消防長 高澤敏雄 就任 職員3名採用（職員数104名）
	4月	定数条例改正 111名 職員2名採用（職員数106名） 熊本県防災消防航空隊出向1名
平成18年	4月	職員3名採用（職員数108名）
平成19年	1月	防災研修車（ニッサンマイクロバス 3,000cc）藤田株式会社から寄贈
	4月	第7代消防長 竹田文郎 就任 職員4名採用（職員数111名）
	5月	全国消防長会総務委員会（人吉市）
	4月	第8代消防長 中村俊博 就任 定数条例改正 105名 職員採用2名（職員数105名） 熊本県消防学校派遣教官出向1名

平成21年	6月	事務連絡2号車（スバルブレオ 650cc）退職者から寄贈
	9月	人吉下球磨幼年消防クラブ発足25周年式典
	3月	広報車（ニッサンティーダ 1,500cc）配備
	4月	第9代消防長 原一幸 就任 職員採用3名（職員数105名）
平成22年	7月	職員欠員補充1名（職員数105名）
	2月	中央消防署北分署新庁舎落成式
	4月	第10代消防長 犬童利夫 就任 職員採用5名（職員数105名）
	3月	東日本大震災緊急消防援助隊現地派遣1,2次隊 10名（宮城県仙台市若林区、宮城野区） 東分署及び北分署に高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）配備
平成23年	4月	第11代消防長 槻木孝至 就任 職員採用9名（職員数105名） 熊本県防災消防航空隊出向1名
	6月	予防査察車（ニッサンティーダ 1,500cc）配備
	10月	熊本県消防長会秋季総会（人吉市）
	4月	第12代消防長 中村憲和 就任 職員採用3名（職員数105名）
平成25年	2月	資器材搬送車（三菱キャンター 3,000cc）総務省消防庁より無償使用制度を活用し配備 消防救急デジタル無線（共通波）開局式
	4月	第13代消防長 富田清一 就任 定数条例改正 109名 職員採用10名（職員数107名）
	4月	中央署に高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700cc）配備 職員採用4名（職員数107名） 熊本県消防学校教官出向1名
	5月	人吉下球磨消防組合発足40周年記念式典
平成27年	3月	事務連絡車（スバルインプレッサ 2,000cc）配備 中央署にタンク車（日野レンジャー 6,400cc）配備 消防救急デジタル無線（活動波）開局式
	4月	第14代消防長 中山哲臣 就任 消防救急デジタル無線（活動波）運用開始 定数条例改正 110名 職員採用9名（職員数109名）
平成28年	4月	職員採用3名（職員数105名） 熊本県防災消防航空隊出向1名 平成28年熊本地震熊本県応援協定に基づく隊現地派遣 1,2次隊（14名） 熊本県相互応援協定に基づく救急隊応援出動 1,2次隊（6名）南阿蘇村 熊本県救急医療功労者知事表彰（北分署救急隊）
	9月	中分署に高規格救急車を配備
	12月	東分署にタンク車（日野デュトロ 4,000CC）配備
	4月	職員5名採用
平成29年	7月	九州北部豪雨発生 緊急消防援助隊として第1次隊から第7次隊まで派遣
	9月	熊本県救急医療功労者知事表彰（中分署救急隊）
	10月	第66回全国消防長会危険物委員会を人吉市で開催
	1月	中分署にタンク車（日野デュトロ 4,000CC CD-1）配備 中央署にタンク車（日野レンジャー 6,400CC 水1-B）配備
平成30年	3月	災害救援車（ニッサンシビリアン）を岩下兄弟株式会社から寄贈
	4月	第15代消防長 深江政友 就任 職員3名採用（職員数104名） 予防課（指導係・予防係）を予防課（予防係・危険物係）へ改編 企画教養課、情報管理課を廃止し人事教養課（人事教養係、情報管理係）を新設 通信指令課、救急課を廃止し警防課（警防通信係、救急係）を新設
	6月	職員採用4名（職員数108名）
	10月	西分署に高規格救急車（トヨタハイメディック 2,700CC）配備
平成31年	1月	中央署に特殊災害対応はしご付消防自動車（日野 30m級 8,900CC）配備
	4月	職員6名採用（109名） 熊本県消防学校教官出向1名
令和元年	5月	人吉下球磨消防組合 水難救助隊発隊
	6月	中央署に指揮2号車（トヨタ ランドクルーザーブロード）配備
	12月	第一回警防技術大会開催 中央署に指揮1号車（トヨタ ハイエース）配備
	1月	中央署に消防活動用重機（コベルコ SK55SR）配備
令和2年	3月	中央署に重機搬送車（いすゞ FORWARD 7,790CC）配備

◆ 消防組合の組織

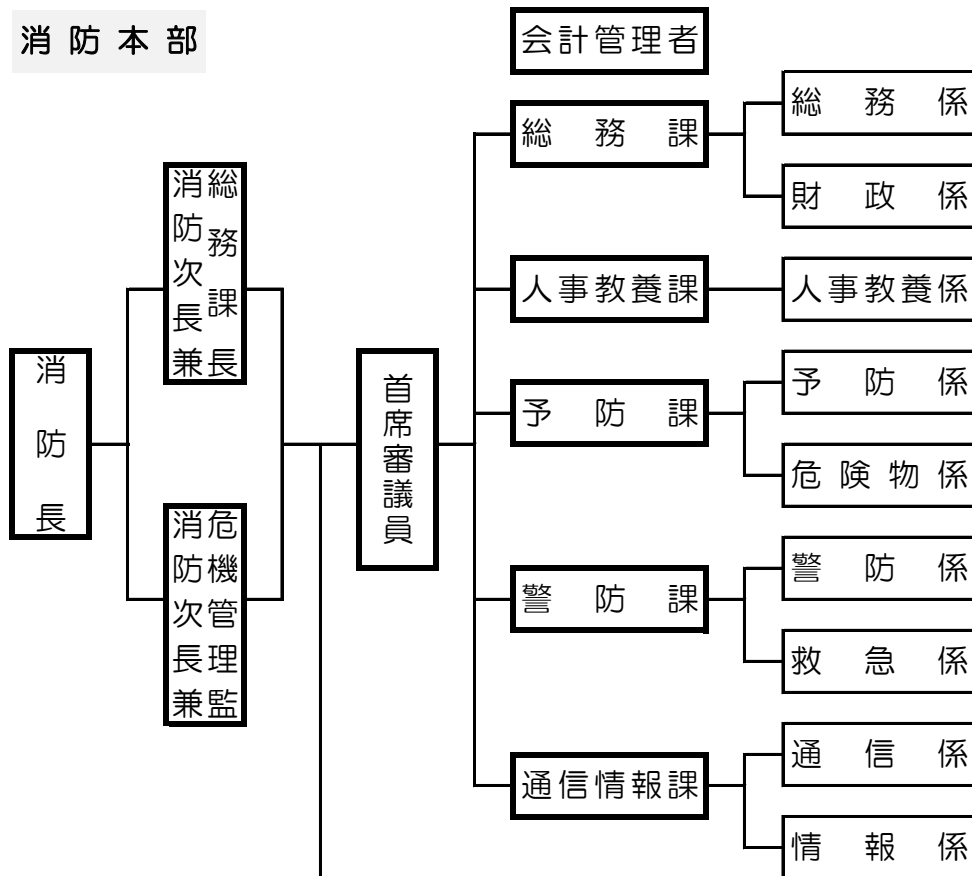
令和2年4月1日



※建制順

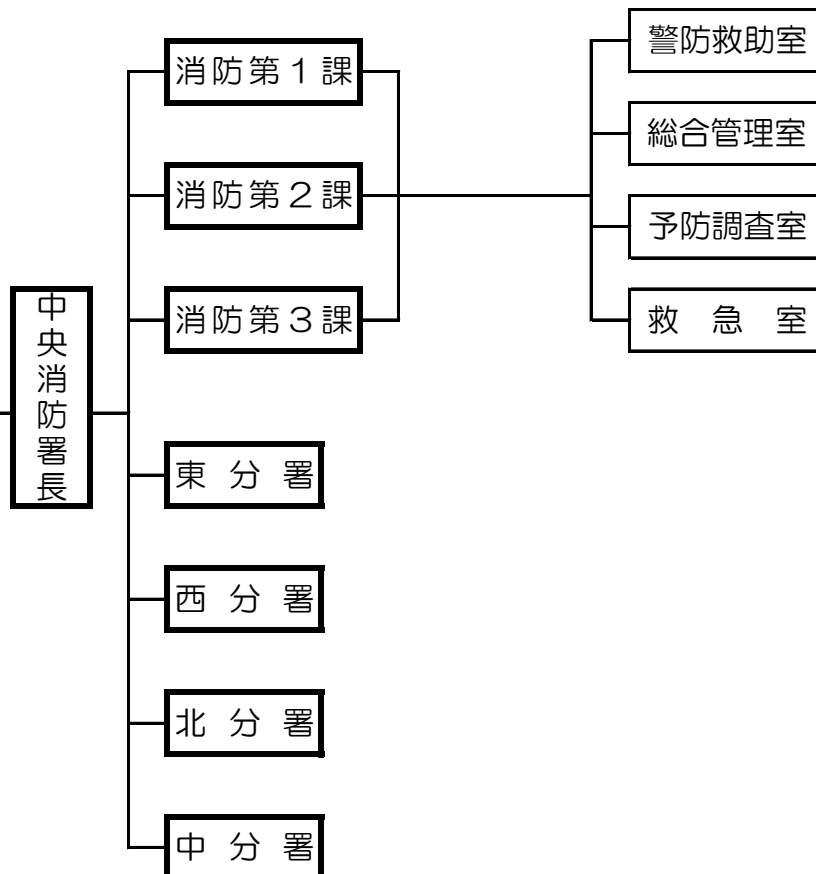
◆ 消防本部及び署の組織

消 防 本 部



中央消防署

署の事務機構



◆ 消防本部及び消防署の事務分掌

1 消防本部の事務分掌

総務課	総務係	1 本部及び消防署の組織に関すること。 2 公印に関すること。 3 議会に関すること。 4 文書の収発及び函書に関すること。 5 職員の福利厚生、共済その他保健に関すること。 6 消防賞じゅつに関すること。 7 条例、規則及び規程等の整備に関すること。 8 庁舎の維持管理に関すること。 9 物品及び貸与品に関すること。 10 寄附の採納に関すること。 11 公告式に関すること。 12 陳情、請願に関すること。 13 その他総務に関すること。
	財政係	1 監査に関すること。 2 予算、決算に関すること。 3 地方債に関すること。 4 地方交付税に関すること。 5 財政状況の公表に関すること。 6 財産の取得、処分及び管理に関すること。 7 契約に関すること。 8 組合経費に関すること。 9 給与の計算及び支給に関すること。 10 出納事務に関すること。 11 その他財政に関すること。
人事教養課	人事教養係	1 職員の定数、配置及び事務に関すること。 2 職員の任免、分限、懲戒、服務、賞罰及びその他身分に関すること。 3 職員の採用試験及び昇任試験に関すること。 4 職員の人事評価及び人事記録に関すること。 5 職員の公務災害及び健康管理に関すること。 6 消防職員委員会、第三者委員会、コンプライアンス委員会及び懲戒等審議会に関すること。 7 情報公開等審査会及び情報公開等判定委員会に関すること。 8 職員の情報管理及び情報公開に関すること。 9 職員の相談窓口に関すること。 10 投書の処理に関すること。 11 職員の研修、教養及び人材育成に関すること。 12 学校入校等に関すること。 13 消防長会及び消防協会に関すること。 14 各種表彰に関すること。 15 式典及び儀礼等の企画に関すること。 16 その他人事教養に関すること。

予 防 課	予 防 係	1 防火対象物の立入検査及び措置命令に関すること。 2 防火対象物の防火管理の指導に関すること。 3 建築物の許可、認可及び確認の同意に関すること。 4 防火管理者の講習及び教育指導に関すること。 5 消防用設備等に関すること。 6 家庭防火班の育成指導に関すること。 7 防火思想の普及指導及び広報に関すること。 8 防火委員会に関すること。 9 幼少年、婦人防火クラブ等の育成及び指導に関すること。 10 消防連絡協議会に関すること。 11 課内の他係に属しないこと。
	危 険 物 係	1 予防査察に関すること。 2 危険物の許可、認可、承認及び指導に関すること。 3 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。 4 消防法（昭和 23 年法律第 186 号）第 9 条の 3 に係る届出及び液化石油ガスの貯蔵取扱いに係る意見書に関すること。 5 火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）に基づく煙火の消費に係る事務に関すること。 6 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和 42 年法律第 149 号）に基づく液化石油ガス設備工事の届出及び立入検査に関すること。 7 その他予防指導に関すること。
警 防 課	警 防 係	1 警防救助の事務に関すること。 2 消防相互応援協定に関すること。 3 緊急消防援助隊の応援及び受援の計画に関すること。 4 消防職員の招集及び出動計画に関すること。 5 消防隊員の安全管理に関すること。 6 特殊災害の調査及び研究に関すること。 7 消防車両の登録、更新及び検査に関すること。 8 各種災害情報等の収集及び伝達に関すること。 9 消防に係る関係機関との連絡及び調整に関すること。 10 その他警防救助業務の事務に関すること。
	救 急 係	1 救急業務の事務に関すること。 2 救急隊の運用及び訓練計画に関すること。 3 救急統計に関すること。 4 医療関係機関との連絡調整に関すること。 5 メディカルコントロール協議会に関すること。 6 救急隊員の教育研修の計画に関すること。 7 救急医療情報に関すること。 8 その他救急業務に関すること。

通信情報課	通信係	1 災害に係る通信及び指令に関すること。 2 通信に係る関係機関との連絡及び調整に関すること。 3 無線従事者及び通信に係る者の指導及び教育に関すること。 4 各種災害の情報収集、伝達及び広報に関すること。 5 火災警報の発令に関すること。 6 気象情報、災害情報及び救急医療情報の連絡に関すること。 7 その他通信業務に関すること。
	情報係	1 通信情報業務の企画立案に関すること。 2 通信設備の運用及び維持管理更新に関すること。 3 通信指令に係る支援情報の管理に関すること。 4 消防緊急情報システムの運用及び管理に関すること。 5 消防統計、消防年報及び広報（ホームページ含む）に関すること。 6 災害に係る情報公開に関すること。 7 個人情報保護に関すること。 8 その他情報管理業務に関すること。

2 消防署の事務分掌

警 防 救 助 室	警 防 救 助 係	1 警防及び救助業務の実施に関する事。 2 消防相互応援協定に基づく出動に関する事。 3 緊急消防援助隊の出動に関する事。 4 救助技術の研究、指導及び訓練に関する事。 5 防災警備に関する事。 6 消防職員、消防団員及び自主防災組織等の訓練指導に関する事。 7 その他警防及び救助業務の実施に関する事。
総 合 管 理 室	総 合 管 理 係	1 中央署内の庶務に関する事。 2 消防活動上の地理及び水利に関する事。 3 備品管理に係る事務に関する事。 4 消防機械器具の管理及び取扱いに関する事。 5 消防車両の整備、改善及び使用に関する事。 6 庁舎施設の維持管理に関する事。
予 防 調 査 室	予 防 調 査 係	1 防火対象物の予防査察に関する事。 2 予防関係諸届出の指導に関する事。 3 少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱いの指導に関する事。 4 自衛消防隊の指導及び育成に関する事。 5 火災予防対策に関する事。 6 劇場等の定員規制及び予防警備に関する事。 7 火災の原因及び損害の調査に関する事。 8 火災報告及び火災統計に関する事。 9 罹災証明に関する事。 10 その他の予防及び火災調査業務に関する事。
救 急 室	救 急 係	1 救急業務の実施に関する事。 2 救急隊員の教育訓練に関する事。 3 救急隊員の安全管理に関する事。 4 救急技術の調査及び研究に関する事。 5 救急報告及び救急統計に関する事。 6 応急手当の普及に関する事。 7 救急資機材の維持管理に関する事。 8 その他救急業務の実施に関する事。

◆ 職員の配置状況と階級別現員

		総 計		消防監		消 防 司令長		消 防 司 令		消 防 司令補		消 防 士 長		消 防 副士長		消防士	
総 計		109		1		4	(3)	18	(1)	16		16	(1)	28	(1)	26	(1)
消防本部	計	30	(7)	1		3	(3)	7	(1)	7		3	(1)	1	(1)	8	(1)
	消防長	1		1													
	消防次長	2				2											
	危機管理監		(1)				(1)										
	首席審議員	1				1											
	会計管理者	1						1									
	総務課	5	(2)				(1)		(1)	1		1		1		2	
	含総務課付	7								1						6	
	人事教養課	1	(3)					1					(1)		(1)		(1)
	予防課	3						1		2							
	警防課	3						2		1							
	通信情報課	6	(1)				(1)	2		2		2					
中央消防署	計	79				1		11		9		13		27		18	
	署 長	1				1											
	首席審議員																
	副署長																
	中央署	42						6		4		11		13		8	
	東分署	9						1		2				4		2	
	西分署	9						1		1		1		4		2	
	北分署	9						2		1				3		3	
	中分署	9						1		1		1		3		3	

※ () は兼務

◆ 勤続年数別職員数

区 別	合 計	消防士	消 防 副士長	消 防 士 長	消 防 司令補	消 防 司 令	消 防 司令長	消防監
合 計	109	26	28	16	16	18	4	1
平均（年）		2.9	8.1	14.5	21.4	27.8	36.3	37.0
0～1	1	1						
1～2	9	8	1					
2～3	2	2						
3～4	4	4						
4～5	3	3						
5～6	8	8						
6～7	3		3					
7～8	8		8					
8～9	2		2					
9～10	7		7					
10～11	5		5					
11～12	2		2					
12～13	2			2				
13～14	3			3				
14～15	1			1				
15～16	6			6				
16～17	3			3				
17～18	1			1				
18～19								
19～20	3				3			
20～21	3				3			
21～22	1				1			
22～23	5				5			
23～24	3				2	1		
24～25	8				2	6		
25～26								
26～27								
27～28	1					1		
28～29								
29～30	1					1		
30～31	6					6		
31～32	1					1		
32～33	2					1	1	
33～34								
34～35	1					1		
35～36								
36～37								
37～38	3						2	1
38～39								
39～40	1						1	
40～41								

◆ 年齢別職員数

区 別	合 計	消防士	消 防 副士長	消 防 士 長	消 防 司令補	消 防 司 令	消 防 司令長	消防監
合 計	109	26	28	16	16	18	4	1
平均（年齢）	34.56	23.12	29.11	34.94	41.13	47.28	56	60
18	1	1						
19	1	1						
20	3	3						
21	2	2						
22	3	3						
23	6	6						
24	4	3	1					
25	2	1	1					
26	6	3	3					
27	5	1	4					
28	4	2	2					
29	3		3					
30	5		5					
31	5		4	1				
32	5		3	2				
33	5		1	4				
34	2		1	1				
35	1			1				
36	3			3				
37	3			1	2			
38	3				3			
39	2			2				
40	4			1	3			
41	1				1			
42	6				1	5		
43	2				2			
44	2				2			
45								
46	1				1			
47	3				1	2		
48	2					2		
49	4					4		
50	3					3		
51	1					1		
52								
53	1						1	
54	1					1		
55								
56	1						1	
57	1						1	
58	1						1	
59								
60	1							1

◆ 消防予算

【歳 入】

	令和元年度		令和2年度	
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)
分担金及び負担金	966,140	89.77	1,005,290	96.46
使用料及び手数料	649	0.06	649	0.06
寄付金	1	0.00	1	0.00
諸収入	6,245	0.58	3,425	0.33
組合債	84,100	7.82	15,000	1.44
国庫支出金	1	0.00	1	0.00
県支出金	—	—	3,821	0.37
財産収入	60	0.01	23	0.00
繰入金	15,000	1.39	10,000	0.96
繰越金	4,000	0.37	4,000	0.38
歳入合計	1,076,196	100	1,042,210	100

【歳 出】

	令和元年度		令和2年度	
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)
人件費	750,779	69.76	756,100	72.55
物件費	71,023	6.60	63,013	6.05
維持補修費	3,878	0.36	1,637	0.16
扶助費	13,570	1.26	14,155	1.36
補助費等	4,608	0.43	4,094	0.39
普通建設事業費	92,000	8.55	64,991	6.23
公債費	138,278	12.85	136,196	13.07
積立金	60	0.00	24	0.00
予備費	2,000	0.19	2,000	0.19
歳出合計	1,076,196	100	1,042,210	100

◆ 職員の教育実施状況

1 消防学校及び消防大学校入校

		昭和53年から平成21年までの合計	平 成 (年度)										令和 元	計
			22	23	24	25	26	27	28	29	30			
熊 本 県 消 防 学 校	初任科	78	6	9	3	10	4	9	3	5	3	4	134	
	初級幹部科	22	2		2		2		2		2		32	
	警防科	30	2		2		2					2	38	
	救助科	54	2	2	2	2	2	2	2	1	3	2	74	
	予防科	34											34	
	危険物科	4		2			2			2			10	
	予防査察科	4		2		2		2			2		12	
	救急科	99	3	3	3	5	5	3	3	4	5	6	139	
	指導員科	32	2		2						2		38	
	火災調査科	26	2							2		2	32	
	特殊災害科	6		2		2				2		1	13	
	中級幹部科	6		2		2		2		2		2	16	
	上級幹部科	4											4	
	警防隊員研修										2	2	4	
	気管挿管講習	9		2	2	2	2						17	
	計	408	19	24	16	25	19	18	10	18	19	21	597	

消防大学校	幹部科	11		1	1	1	1	1	1	1			18
	警防科	8		1		1				1			11
	予防科	7			1			1				1	10
	危険物科	1			1				1				3
	救急科	8				1							9
	救助科	2	1				1						4
	火災調査科	1		1									2
	新任教官科	2				1					1		4
	違反是正特別講習	1					1						2
	計	41	1	3	3	4	3	2	2	2	1	1	63

2 救急救命士資格・気管挿管認定・薬剤投与認定取得状況

	平成3年から 平成21年ま での合計	平成(年度)										令和 元	計
		22	23	24	25	26	27	28	29	30			
救急救命士	15	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	27	
気管挿管	11	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	34	
薬剤投与	15	2	1	2	1	1	2	2	2	3	3	34	
処置拡大2行為						4	2	7	8	6		27	

◆ 職員の特殊技能・資格取得状況

階級別 職員数		合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
資格別		109	1	4	18	16	16	28	26
	大 型 1 種	90	1	4	18	16	16	26	9
	大 型 特 殊	4			3				1
	中 型	4						3	1
	普 通 1 種	109	1	4	18	16	16	28	26
	自 動 二 輪	57	1	4	15	10	9	10	8
	け ん 引	1			1				
そ の 他 の 免 許 ・ 資 格	特 殊 無 線 技 士	101	1	4	18	16	16	28	18
	アマチュア無線技士	10		3	6	1			
	潜 水 士	77	1	4	17	16	14	24	1
	小 型 船 舶 操 縦 士	38	1	3	13	9	9	2	1
	救 助 課 程 修 了 者	41	1	3	12	10	11	4	
	救 急 救 命 士	36		1	6	6	8	7	8
	救急標準課程修了者	70	1	4	18	16	15	16	
	応 急 手 当 指 導 員	85	1	4	18	16	16	26	4
	衛生管理者（第1種）	3			1	1	1		
	甲種危険物取扱者	3				2			1
	乙種危険物取扱者	82	1	1	17	16	16	25	6
	甲種消防設備士	2				1	1		
	乙種消防設備士	29			9	14	5	1	
	酸素欠乏危険作業主任者	26	1		7	7	6	5	
	特定化学物質等作業主任者	6				4	1		1
	ガ ス 溶 接 士	21			4	1	9	5	2
	車両系建設機械（整地）	5			1		1	1	2
	車両系建設機械（解体）	5			1		1	1	2
	クレーン（5t未満含む）	57	1	3	13	11	15	14	
	玉 掛 技 能 者	50	1	3	10	7	13	14	2
	電 気 工 事 士	6		1	1	1	2		1
	チェーンソー教育	22			3	2	8	9	
	予防技術検定（危険物）	15			3	5	5	2	
	予防技術検定（設備）	7		1		3	2	1	
	予防技術検定（査察）	32		1	7	9	6	7	2
	航空特殊無線技士	2			2				

※ 令和2年4月1日現在

消防活動

◆ 消防用車両配置状況

	車 両 名	車 種 名	型 式	排気量	年式	無線呼出
本部・中央署	救急1号車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 2 6	中央 1
	救急2号車	トヨタハイメディック	TC-VCH38S	3,370cc	H 1 5	中央 2
	救急3号車	日産パラメディック	GE-FLGE50	3,270cc	H 1 2	中央 3
	1号車	日野レンジャー	SDG-GX7JGAA 改	6,400cc	H 2 7	中央1 1
	2号車	いすゞELF	U-NKS58GR 改	3,630cc	H 5	中央1 2
	3号車	日野レンジャー	SDG-GX7JGAA 改	6,400cc	H 3 0	中央1 3
	水槽車	三菱ザ・グレート	U-FP418H	11,140cc	H 2	中央1 4
	指揮1号車	トヨタハイエース	CBF-TRH226K	2,690cc	R 1	中央3 1
	指揮2号車	トヨタランドクルーザープラド	LDA-GDJ150W	2,750cc	R 1	中央3 2
	救助工作車	日野レンジャー	KK-GD1JGDA 改	7,960cc	H 1 3	中央5 1
	梯子車	日野梯子車専用シャシ	2DG-PR1APJF	8,860cc	H 3 1	中央5 2
	資機材搬送車	三菱キャンター	TKG-FGB70	2,990cc	H 2 5	中央5 3
	赤バイ1号	ホンダ	MD 31E	250cc	H 9	
	赤バイ2号	ホンダ	MD 23E	220cc	H 9	
	赤バイ3号	ホンダ	MD 23E	220cc	H 9	
	赤バイ4号	ホンダ	MD 23E	220cc	H 9	
	赤バイ5号	ホンダ	MD 23E	220cc	H 9	
	赤バイ6号	ホンダ	MC 34E	223cc	H 1 5	
	災害救援車	ニッサンシビリアン	ABG-DJW41	4,470cc	H 3 0	
	司令車	トヨタエスクァイア	DAA-ZWR80G	1,790cc	H 2 7	
	防災研修車	ニッサンキャラバン	KR-DWMGE25	2,950cc	H 1 9	
	広報車	ニッサンティータ	DBA-SC11	1,490cc	H 2 1	
	予防査察車	ニッサンティータ	DBA-C11	1,490cc	H 2 3	
	事務連絡車	スバルインプレッサ	DBA-GP6	1,990cc	H 2 6	
	事務連絡2号車	スバルプレオ	LE-RV1	650cc	H 2 0	
	小型搬送車	ダイハツハイゼット	EBD-S510P	650cc	H 2 8	
	重機	コベルコ SK55SR-6E	PSO4012925	2,189cc	R 2	
	重機搬送車	いすゞフォワード	2KG-FVZ60U2	7,790cc	R 2	
東分署	タンク車	日野デュトロ	TKG-XZU685M	4,000cc	H 2 9	人消東 1 1
	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 2 3	人消東 1
	広報車	ニッサンアベニール	R-VEW10 改	1,590cc	H 3	人消東 3 1
西分署	タンク車	日野レンジャー	KK-GD1JGDA 改	7,960cc	H 1 3	人消西 1 1
	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 3 0	人消西 1
	広報車	ニッサンAD	E-WFNY10 改	1,490cc	H 4	人消西 3 1
北分署	タンク車	三菱ファイター	KK-FK61HE	8,200cc	H 1 2	人消北 1 1
	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 2 3	人消北 1
	広報車	ニッサンAD	E-WFNY10 改	1,490cc	H 7	人消北 3 1
中分署	タンク車	日野デュトロ	TKG-XZU685M	4,000cc	H 3 0	人消中 1 1
	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 2 8	人消中 1
	広報車	ニッサンAD	GJ-VFY11	1,490cc	H 1 2	人消中 3 1

◆ 消防用特殊資機材保有状況

品 名 ・ 規 格		数 量	配 置 部 署				
			中央署	東分署	西分署	北分署	中分署
救助器具	滑 車	11	11				
	緩降器	2	2				
	鍵付きはしご	4	2	1			1
	三連はしご	5	4			1	
	安全マット	5	5				
	救命索発射銃	2	2				
	安全帯	22	22				
	縛 帯	14	12			1	1
	エバックハーネス	1	1				
	救助マット	2	2				
	山岳救助資機材一式	1	1				
	ロープ登攀器	1	1				
	バスケットストレッチャー	2	2				
	スケッドストレッチャー	1	1				
破壊用具	エンジンカッター	5	1	1	1	1	1
	チェーンソー	8	2	2	1	2	1
	ガス溶断器	1	1				
	万能斧	19	9	3	3	2	2
	油圧式救助器具	2	2				
	エアーソー	2	2				
	エアーカッター	1	1				
	クリッパー	13	5	2	3	2	1
水難救助用具	ヘルメット	27	18	3	3		3
	PFD	17	8	3	3		3
	救命胴衣	93	72	5	5	5	6
	スローバック	10	4	1	3	1	1
	救命浮環	20	16	1	1	1	1
	救命ボート	5	5				
	船外機	4	4				
	潜水器具一式	10	10				
測定器	検知管式ガス測定器	3	3				
	複合ガス測定器	1	1				
	炭化測定器	3	1	1	1		
	放射温度計	5	1	1	1	1	1
	放射線個人線量計	5	5				
	中性子線量率計	1	1				

品 名 ・ 規 格		数 量	配 置 部 署				
			中央署	東分署	西分署	北分署	中分署
救急用機材	自動式人工呼吸器（オートベント含）	7	3	1	1	1	1
	電動式吸引器	9	5	1	1	1	1
	陰圧式固定具（全身）	5	2		1	1	1
	陰圧式固定具（部分）	9	5	1	1	1	1
	訓練用人形	31	24	2	1	2	2
	自動体外式除細動器	8	4	1	1	1	1
	患者監視装置	7	3	1	1	1	1
	エアーテント（多数傷病者救護所）	1	1				
	オゾン殺菌脱臭機	2	1			1	
その他	空気呼吸器	32	20	3	3	3	3
	投光器	17	9	1	3	2	2
	発電機	13	8	1	1	2	1
	拡声器	16	10	1	2	1	2
	ジェットシューター	27	14	4	3	3	3
	ジェットシューター給水器	2	1			1	
	可搬消防ポンプ	9	6	1	1	1	
	チルホール	2	2				
	張力計	1	1				
	耐 電	服	10	10			
		手 袋（高圧）	15	7	2	2	2
		手 袋（低圧）	5	5			
		長 靴	7	7			
	エアーコンプレッサー	5	1	1	1	1	1
	カメラ	15	9	1	2	1	2
	空気充填設備	1	1				
	暗視カメラ	1	1				
	消防活動用無人航空機（ドローン）	1	1				
	林野火災用動力噴霧器	1	1				
	〃 貯水槽	2	2				
	角スコップ	130	27	27	28	27	21
	剣スコップ	144	67	21	20	18	18
	ハンマー	2	2				
	かけや	12	8	1		1	2

◆ 消防水利

市 町 村		人 吉 市	錦 町	相 良 村	五 木 村	山 江 村	球 磨 村	計
種 別								
消 火 栓	基 準 適 合	374	83	55	1	17	44	574
	基 準 適 合 外	175	210	87	20	63	79	634
	小 計	549	293	142	21	80	123	1,208
防 火 水 槽	2 0 m ³ 未 満	10	113	47	4	5	50	229
	2 0 m ³ 以上 4 0 m ³ 未 満	100	17	5	0	11	11	144
	4 0 m ³ 以上 6 0 m ³ 未 満	160	125	84	46	78	28	521
	6 0 m ³ 以上 1 0 0 m ³ 未 満	0	1	2	0	0	1	4
	1 0 0 m ³ 以 上	0	1	0	0	0	1	2
	小 計	270	257	138	50	94	91	900
	プ ー ル	16	6	4	3	3	9	41
計		835	556	284	74	177	223	2,149

令和2年4月現在

◆ 救助業務

1 救助の概要

種 別 \ 年 別		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
火 災	出場件数				2	
	活動件数				2	
	救助人員				2	
交 通 事 故	出場件数	21	16	23	31	25
	活動件数	13	11	14	23	18
	救助人員	15	14	14	38	19
水 難 事 故	出場件数	3	3	3	4	
	活動件数	3	2	3	4	
	救助人員	6	2	6	19	
風 水 害 等 自 然 災 害	出場件数	1			1	1
	活動件数	1			1	0
	救助人員	0			4	0
機 械 に よ る 事 故	出場件数	1	1		1	5
	活動件数	1	1		0	2
	救助人員	1	1		0	2
建 物 等 に よ る 事 故	出場件数	1				
	活動件数	1				
	救助人員	1				
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出場件数					1
	活動件数					1
	救助人員					1
爆 発 事 故	出場件数					
	活動件数					
	救助人員					
そ の 他 の 事 故	出場件数	6	4	11	13	6
	活動件数	4	3	10	6	5
	救助人員	4	3	9	6	5
総 計	出場件数	33	24	37	52	38
	活動件数	23	17	27	36	26
	救助人員	27	20	29	69	27

2 救助技術大会出場の変遷

平成13年～令和元年

出 場 年	出 場 種 目	九州地区指導会	全 国 大 会	備 考
平成13年	ロープ登はん	1 名		陸上の部
	引揚救助	1 チーム		
	水中結索	2 チーム	1 チーム	水上の部
平成14年	ロープブリッジ救出	2 チーム		陸上の部
	水中結索	1 チーム	1 チーム	水上の部
平成15年	ロープ登はん	1 名		陸上の部
	ロープブリッジ救出	2 チーム		
	引揚救助	1 チーム		
	ほふく救出	1 チーム		
	水中結索	2 チーム	1 チーム	水上の部
	水中検索救助	1 チーム	1 チーム	
平成16年	ロープ登はん	1 名	1 名	陸上の部
	ロープブリッジ救出	1 チーム	1 チーム	
	引揚救助	1 チーム		
	ほふく救出	1 チーム		
	水中結索	2 チーム	1 チーム	水上の部
	水中検索救助	1 チーム		
平成17年	ロープ登はん	1 名	1 チーム	陸上の部
	ロープブリッジ救出	1 チーム		
	ほふく救出	1 チーム		
	水中結索	1 チーム		水上の部
	水中検索救助	1 チーム	1 チーム	
平成18年	ロープブリッジ救出	1 チーム	1 チーム	陸上の部
	ほふく救出	県大会1位通過 全国決定	1 チーム	
	引揚救助	1 チーム		
	水中結索	1 チーム	1 チーム	水上の部
	水中検索救助	1 チーム		
平成19年	水中結索	1 チーム	1 チーム	水上の部
	水中検索救助	1 チーム		
平成20年	水中結索	2 チーム	1 チーム	水上の部
	水中検索救助	1 チーム	1 チーム	
平成21年	ロープブリッジ救出	1 チーム		陸上の部
	水中結索	県大会1位通過 全国決定	1 チーム	水上の部
平成22年	ロープブリッジ救出	1 チーム	1 チーム	陸上の部
平成23年	東日本大震災により大会中止			
平成24年	引揚救助	1 チーム		陸上の部
平成25年	—	—	—	—
平成26年	—	—	—	—
平成27年	基本泳法	県大会2位通過 全国決定	1 名	水上の部
平成28年	人命救助	熊本地震により県大会中止 各本部割り当てで全国決定	1 チーム	水上の部
平成29年	ロープブリッジ救出	1 チーム		陸上の部
平成30年	ロープブリッジ救出	1 チーム	台風20号の影響により 全国大会中止	陸上の部
令和元年	ロープブリッジ救出	1 チーム	1 チーム	陸上の部
	ほふく救出	県大会1位通過 全国決定	1 チーム	
	基本泳法	県大会1位通過 全国決定	1 名	水上の部

◆ 火災統計

1 原因及び火災種別出火件数

火災種別 原因別	建 物 火 災			林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 の 火 災	爆 発	合 計
	専共併 用同用 住宅	倉庫・畜舎・納屋	工場・その他・学校・飲食店・店舗・					
火 入 れ						3		3
放 火								0
放 火 の 疑 い	1							1
た き 火						1		1
焼 却 火			2					2
た ば こ								0
火 遊 び								0
こ ん ろ	1							1
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー								0
コ ン セ ン ト								0
ス ト ー ブ								0
配 線 器 具								0
電 気 機 器								0
ボ イ ラ ー								0
電 気 装 置								0
電灯電話等の配線	1					1		2
排 気 管					3			3
風 呂 か ま ど								0
そ の 他	1		1					2
不 明 ・ 調 査 中			2		1	2		5
合 計	4	0	5	0	4	7	0	20

2 火災出場状況

区分 月別	火災件数（件）						焼損棟数（棟）						
	計	建物	林野	車両	爆発	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	住宅	非住宅
H28年(2016)	19	6	2	3		8	7			6	1	2	5
H29年(2017)	28	12	2	6		8	17	10	1	1	5	3	14
H30年(2018)	32	13	1	4		14	25	10		12	3	12	13

H31年(2019)	20	9		4		7	13	4		4	5	6	7
1月	4	1				3	1			1			1
2月													
3月													
4月	3	1				2	1				1	1	
5月	2			1		1							
6月	1			1									
7月	2	1		1			1			1		1	
8月	2	2					2	1		1			2
9月	2			1		1							
10月	3	3					7	3		1	3	4	3
11月													
12月	1	1					1				1		1

人吉市	10	4		2		4	8	2		1	5	3	1
錦町	4	3				1	3	1		2		1	2
相良村	2	2					2	1		1			2
五木村	1			1									
山江村													
球磨村	3			1		2							

二〇二〇年度全国統一防火標語

その火事を

防ぐあなたに

金メダル

焼 損 面 積			罹災世帯数	罹災人員	死者数	負傷者数	損（千円） 害 額
建物（㎡）		林野（a）					
床	表面						
99	11	5	4	12			1,668
2,031	1	5	4	10			27,810
783	53	35	12	16	2	5	33,454

327	13		8	12		4	9,756
10							80
			1	1			65
							28
							105
3			1	1			610
40	1						1,426
							221
274	5		6	10		2	6,620
	7					2	601

245	12		7	11		4	7,602
52			1	1			1,744
30	1						80
							105
							225

◆ 救急統計

1 救急の概要

区分 月別	出場件数	搬送人員	救急事故種別（出場件数）		
			火 災	自然災害	水 難
H28年（2016）	2,838	2,701	3	1	3
H29年（2017）	2,957	2,813	16		4
H30年（2018）	3,040	2,839	17	1	4

H31・元年（2019）	2,832	2,670	11		1
1 月	252	238	2		
2 月	207	198			
3 月	198	189			
4 月	248	233	1		
5 月	218	204	1		
6 月	235	215			
7 月	215	203	2		
8 月	270	253	1		
9 月	229	225	1		
1 0 月	253	230	2		1
1 1 月	265	251			
1 2 月	242	231	1		

人 吉 市	1,733	1,643	6		
錦 町	445	423	4		
相 良 村	208	194			
五 木 村	77	66			
山 江 村	114	104			
球 磨 村	226	218			1
高 速 道 路	29	22	1		
管 轄 外					

救急事故種別（出場件数）

交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他
196	40	31	412	6	29	1,824	293
218	31	37	483	13	29	1,859	267
203	40	37	448	10	22	1,929	329

185	31	26	440	9	24	1,766	339
11		1	36		1	173	28
22	2		30	1	2	122	28
15	2	1	31	1		121	27
15		2	37	2	3	158	30
13	3	3	31		2	136	29
14	2	4	37	3	2	143	30
8	4	2	33	1	2	134	29
20	11	3	43	1	3	165	23
13	2	5	48		1	140	19
21	1	2	40		5	141	40
15	3	2	43		3	174	25
18	1	1	31			159	31

98	13	19	271	6	14	1,031	275
34	9	7	61	1	2	293	34
16	2		34	1	4	137	14
4	3		14		1	49	6
4	1		22		2	78	7
12	2		36	1	1	170	3
17	1		2			8	

2 曜日別・時間別救急出場件数

事故種別 区分		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計		2,832	11	0	1	185	31	26	440	9	24	1,766	339
曜日	日	415	1			24	4	5	59		5	272	45
	月	387	3			29	7	1	63		3	232	49
	火	375				20	4	1	54		4	233	59
	水	411			1	25	7	2	67	1	10	243	55
	木	423	4			43	4	1	70	1	2	247	51
	金	389	3			26	3	8	58	3		250	38
	土	432				18	2	8	69	4		289	42
時間別	0～2	126				3			21	3	2	84	13
	2～4	104				1			10			88	5
	4～6	123				3	1		9			102	8
	6～8	222				20	1		37		3	151	10
	8～ 10	337	4			17	6	3	63		1	201	42
	10～ 12	320	1			28	5	6	47		4	163	66
	12～ 14	307			1	26	5	6	53	1	4	153	58
	14～ 16	288	1			33	7	5	53		4	154	31
	16～ 18	288				16	5	2	56			169	40
	18～ 20	335	2			25		4	38	2		222	42
	20～ 22	233	3			4	1		33	2	2	175	13
	22～ 24	149				9			20	1	4	104	11

3 救急事故種別搬送状況

種別 区分		合 計	事 故 種 別											不 搬 送
			火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	
出 場 件 数		2,832	11		1	185	31	26	440	9	24	1,766	339	
傷 病 者 搬 送 件 数		2,670	2		1	172	30	26	427	9	16	1,702	285	179
搬 送 人 員	男	1,345	2		1	85	25	14	205	4	6	854	149	
	女	1,325				87	5	12	222	5	10	848	136	
	計	2,670	2	0	1	172	30	26	427	9	16	1,702	285	

4 傷病程度別搬送人員

種別 区分		合 計	事 故 種 別										
			火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
死 亡		0											
重 症		177				5	1		12	1	6	88	64
中 等 症		1,532	1		1	63	18	12	216	4	5	991	221
軽 症		961	1			104	11	14	199	4	5	623	
そ の 他		0											
合 計		2,670	2	0	1	172	30	26	427	9	16	1,702	285

5 救急隊員が行った応急処置件数

事故種別		急	病	交通事故	一般負傷	その他	合計
項目	対象人員						
	対 象 人 員	1,702	172	424	369		2,667
	止 血	10	12	50	7		79
	固 定	5	113	46	16		180
	人 工 呼 吸				2		2
	胸 骨 圧 迫						0
	心 肺 蘇 生	47	1	4	8		60
	酸 素 吸 入	379	17	32	114		542
	気 道 確 保	75	2	5	11		93
	(うち経鼻エアウェイ)	5					5
	(うち喉頭鏡・鉗子等)						0
	(うちラリングアルマスク等)	2					2
	(うち気管挿管チューブ)	1			1		2
	保 温	687	54	131	136		1,008
	被 覆	6	31	91	12		140
	在 宅 療 法 継 続	3			1		4
	シ ョ ッ ク パ ン ツ						0
	除 細 動	5		1			6
	静 脈 路 確 保	18	1	5	4		28
	(うちC P A 前)	3	1	3	1		8
	(うちC P A 後)	15		2	3		20
	薬 剤 投 与	15		2	5		22
	血 糖 測 定	29					29
	エ ピ ペ ン 投 与						0
	ブ ド ウ 糖 投 与	2					2
	血 圧 測 定	1,618	169	410	299		2,496
	聴診器(心音・呼吸音)聴取	184	38	19	10		251
	血中酸素飽和度の測定	1,653	170	418	346		2,587
	心 電 図 モ ニ タ ー	1,167	39	126	140		1,472
	その他の応急処置	1,509	110	344	194		2,157
	合 計	7,430	758	1,689	1,309		11,158

6 医療機関別搬送状況

医療機関										その他の場所	合 計
救急告示医療機関					その他の医療機関						
国・公立	公 的	私 的		小 計	国・公立	公 的	私 的		小 計		
		病 院	診 療 所				病 院	診 療 所			
52	1,918	612		2,582	1	2	24	58	85	3	2,670

◆ 通信関係

1 無線設備配置状況

1) デジタル無線

基地局	6局
固定局	3局
陸上移動局	37局 (車載型 24局 / 携帯型 12局 / 卓上型 1局)
無線種別	活動波 1
	活動波 2
	主運用波 7
	統制波 1
	統制波 2
	統制波 3

無線従事者	陸上特殊無線技士103名(航空特殊無線技士2名含) ≪1級陸上(1名) 2級陸上(40名) 3級陸上(62名)≫
-------	---

消防本部・中央消防署 ひとしょうほんぶ	
固定局	10W
陸上移動局	
車載型10W	12局
携帯型1W	8局

中央消防署東分署 ひとしょうひがし	
陸上移動局	
車載型10W	3局
携帯型1W	1局

中央消防署西分署 ひとしょうにし	
陸上移動局	
車載型10W	3局
携帯型1W	1局

中央消防署北分署 ひとしょうきた	
陸上移動局	
車載型10W	3局
携帯型1W	1局

中央消防署中分署 ひとしょうなか	
陸上移動局	
車載型10W	3局
携帯型1W	1局

高塚山 ひとしょうたかつかやま	
基地局	10W
固定局	10W

八原 ひとしょうやつはる	
基地局	10W
固定局	10W

球磨村役場 ひとしょうくまむらやくば	
基地局	10W

一般国道トンネル しょうぼう きゅうしちとんねる	
基地局	20W

高速道路トンネル ひとしょうひごとんねる	
基地局	20W
ひとしょうかくとう	
基地局	10W

2) アナログ無線 陸上移動局(携帯型 署活系無線機1W) 4局

3) 業務用IP無線 20局(車載型1局 携帯型18局 卓上型1局)

2 通報統計

(1) 時間別着信状況

種別 時間	火災	救急 救助	その他 出動	問合せ	試 験	いた ずら	間違い	その他	通報 訓練	計
0		53	1	3	2		2	9		70
1		57		4				11		72
2		49		3			1	2		55
3		48		1			1	2		52
4		47					1	5		53
5		55		3			1	7		66
6		94		3			3	5		105
7	1	93			2		2	7	2	107
8	6	135		8	4		6	14	25	198
9	1	160	1	3	30		13	17	64	289
10	2	155		5	69		7	25	83	346
11	9	124		5	21		15	25	19	218
12	1	150	1	3	5		5	21	10	196
13	2	117		9	28	1	9	21	40	227
14	1	130		3	44		4	17	64	263
15	3	132		5	34	1	9	23	28	235
16	2	129		8	36		10	15	16	216
17	1	121		3	14		7	26	11	183
18	2	148	1	6	19	1	6	13	10	206
19	12	151		5	2	1	11	22	12	216
20	2	119		4	2	1	10	22	1	161
21	2	93	2	7	7		4	20	1	136
22		73		4			2	7		86
23	3	56	1	7	1			18	2	88
計	50	2,489	7	102	320	5	129	354	388	3,844

(2) 月別119着信状況

種別 月別	火災	救急 救助	その他 出動	問合せ	試験	いた ずら	間違 い	その他	通報 訓練	計
1	5	230		3	22	3	19	24	15	321
2	1	183		6	10	1	11	24	21	257
3	1	171	1	10	41		11	26	46	307
4	5	220	1	7	37	1	14	24	17	326
5	5	184	1	14	60		12	28	29	333
6	3	205	1	7	21		9	40	36	322
7	4	175	1	9	63		8	35	18	313
8	2	233	1	9	5		10	28	17	305
9	3	207		6	26		9	20	24	295
10	15	223		9	11		8	32	34	332
11		244		9	15		7	25	89	389
12	6	214	1	13	9		11	48	42	344
計	50	2,489	7	102	320	5	129	354	388	3,844

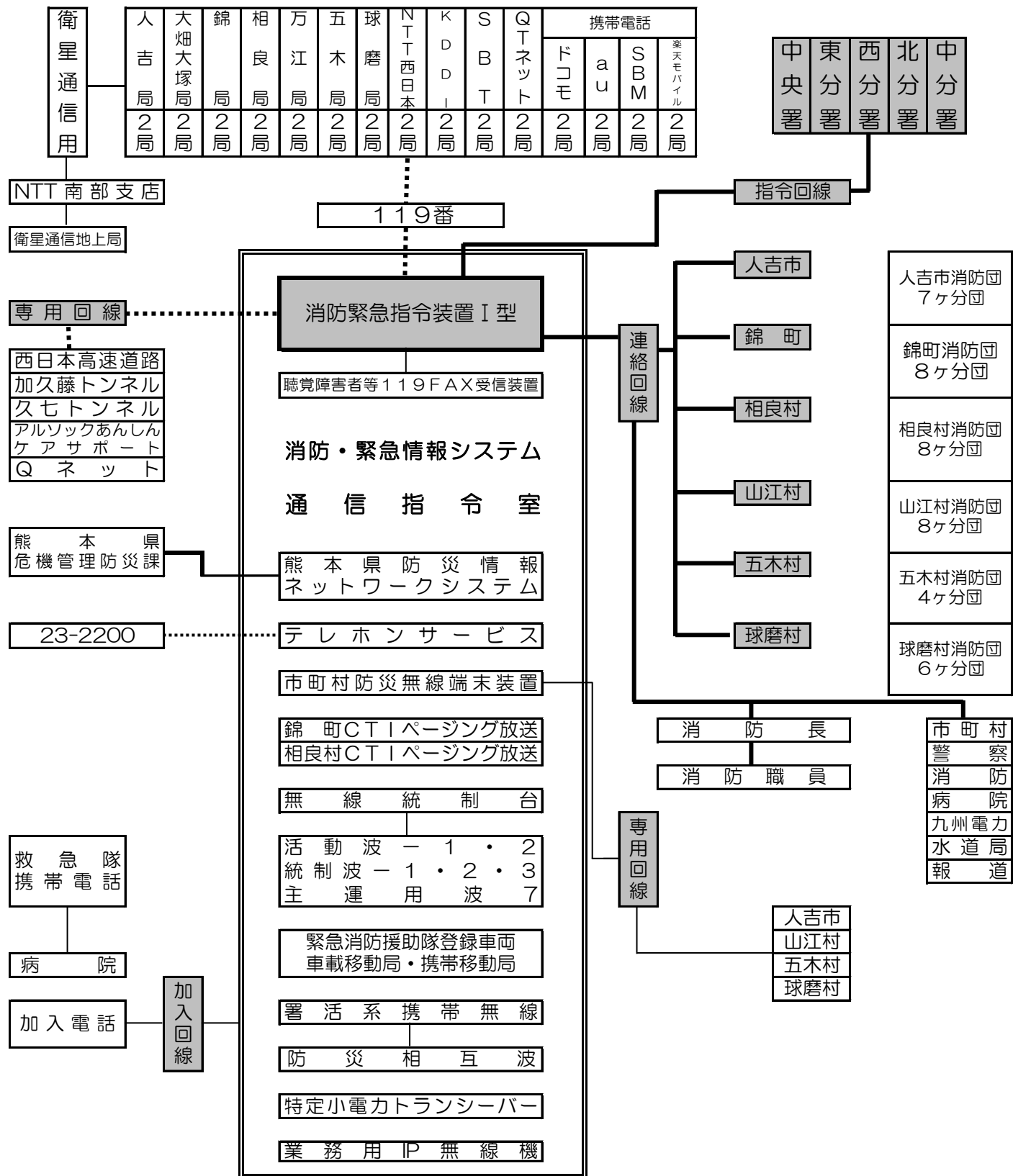
3 気象情報

月 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高気温(℃)	15.8	19.1	22.4	28.8	34.8	32.8	37.0	36.1	36.0	30.5	24.8	20.5
最低気温(℃)	-3.6	-2.3	-0.7	0.6	6.7	14.2	19.4	19.5	16.3	10.0	1.1	-1.3
平均気温(℃)	5.8	7.9	10.5	14.9	19.4	22.6	25.6	26.5	25.6	19.9	12.1	7.6
年間平均気温 16.5 ℃ 年間最高気温 37.0 ℃ 年間最低気温 -3.6 ℃												
平均風速(㍴)	1.4	1.4	1.9	1.6	1.6	1.3	1.2	1.4	1.5	1.1	0.9	1.1
最大風速(㍴)	14.6	13.0	16.7	17.7	15.0	14.3	16.7	20.4	22.6	12.5	12.7	17.6
同 上 風 向	北西	西北西	北西	北北西	東	西北西	北	西北西	南南東	西北西	北西	西北西
年間平均風速 1.4 ㍴ 最大風速 22.6 ㍴ 西北西												
降 水 量 (mm)	38.5	132.0	157.0	126.5	52.5	446.0	839.0	251.0	63.5	87.0	41.5	114.0
年間降水量 2348.5 mm 月最大降水量 839.0 mm 8月												
平均湿度(%)	85.3	89.0	82.2	79.5	75.6	85.4	89.2	87.5	86.1	88.0	89.5	91.2
年間平均湿度 85.7 %												

4 通信指令施設概要

項目	番号	品名	数量	単位	備考
通信指令システム	1	指令台	2	台	
	2	自動出動指定装置	2	台	23型カラー液晶ディスプレイ
	3	地図等検索装置	2	台	23型カラー液晶ディスプレイ
	4	長時間録音装置	1	台	多チャンネル型、HDD及びBlu-Rayバックアップ
	5	非常用受付設備	5	式	INS119番受付装置
	6	指令制御装置	1	式	
	7	119補助受付電話機	2	式	
	8	署所端末装置	5	台	中央(1)・東(1)・西(1)・北(1)・中(1)
	9	拡張台	2	台	
	10	多目的情報表示盤	1	面	55型カラー液晶ディスプレイ 表示盤制御端末含む
	11	支援情報表示盤	1	面	55型カラー液晶ディスプレイ
	12	車両運用表示盤	1	面	55型カラー液晶ディスプレイ
	13	無線統制台	1	台	活動波・主運用波・統制波
	14	指令伝送装置	5	式	デスクトップパソコン（地図検索機能）
	15	気象情報収集装置	1	式	
	16	音声合成装置	1	式	
	17	システム監視装置	1	式	
	18	電源装置	1	式	無停電電源装置、耐雷トランス含む
	19	総合型位置情報通知設備	1	式	
	20	支援情報システム	1	式	
	21	119FAX受信装置	1	式	
	22	ネットワーク装置	1	式	
無線装置	23	無線回線制御装置	1	式	
	24	管理監視制御卓	1	式	
	25	遠隔制御器	3	台	LANタイプ：卓上型
	26	基地局無線装置	3	式	送受信機増設ユニット含む
	27	7.5GHz帯多重無線装置	2	式	簡易型
	28	直流電源装置	3	台	蓄電池
その他	29	防犯カメラ	4	台	50インチモニターテレビ
	30	市町村防災無線装置	4	台	端末装置
	31	熊本県防災情報NWシステム	1	台	

消防通信系統図



署 所	一般加入電話	I P 電話
消防本部・中央署（人吉市）	22-5241	050-3628-5791
ダイヤルイン受付	22-5469（内線）	
中央消防署東分署（錦町）	38-0119	050-3615-8055
中央消防署西分署（球磨村）	32-0119	050-3602-3255
中央消防署北分署（五木村）	37-2119	050-3464-3397
中央消防署中分署（相良村）	24-1243	050-3675-9057

予防業務

◆ 防火対象物現況

対 象 物 等 令 別 表 項 目 別			防火対象物数 150㎡以上 (17項を除く)	防 火 管 理 者		点検が必要 な 防火対象物
				必要な 施設数	届出数	
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1	1	1	1
	ロ	公会堂又は集会場	40	38	27	40
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	1	1	1	1
	ロ	遊戯場又はダンスホール	8	7	7	8
	ハ	風俗営業店等				
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ店等	2	2	2	2
3	イ	待合・料理店の類				
	ロ	飲食店	70	56	43	190
4		百貨店・マーケット・物品販売店等	122	83	66	122
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	40	21	20	52
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	412	87	87	412
6	イ	病院・診療所・助産所	68	46	44	68
	ロ	老人・児童福祉施設等で介護程度の 重いものが入所する施設	35	35	34	35
	ハ	上記以外の福祉施設及び保育所等	96	75	71	96
	ニ	幼稚園・盲・聾・養護学校	3	3	3	3
7		小・中・高等学校・大学・各種学校の類	113	110	110	104
8		図書館・博物館・美術館	12	7	6	7
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場	10	7	5	10
10		車両の停車場・船舶・航空機発着場	4	2	2	2
11		神社・寺院・教会の類	42	32	22	26
12	イ	工場・作業場	346	39	39	344
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫・駐車場	30	16	16	30
	ロ	飛行機・回転翼・航空機の格納庫				
14		倉庫	196	25	24	193
15		前各項に該当しない事業場	566	98	87	391
16	イ	令別表(1)～(5)イ・(6)・(9)イの用途 に供する部分のある複合用途対象物	267	124	94	235
	ロ	イ以外の複合用途対象物	139	10	8	82
17		文化財・重要文化財	21	2	2	21
合 計			2,644	927	821	2,475

◆ 管内中高層建築物現況

令別表項目別 区 分		3 階	4 階	5 階	6 階	7 階 以 上	合 計
合 計		308	77	32	8	18	443
市 町 村 別	人 吉 市	278	74	32	8	18	410
	錦 町	18	2				20
	相 良 村	5	1				6
	五 木 村	4					4
	山 江 村						0
	球 磨 村	3					3

◆ 消防法令に基づく各種届出

令和元年度中

月 別 種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消防計画届出書	28	11	9	10	4	6	22	12	11	4	3	7	127
防火管理者選解任届出書	8	4	4	4	2	7	14	10	6	4	4	4	71
消防用設備等着工届出書	2		3		1		2	3	3	2	1	6	23
消防用設備等設置届出書	8	3	7	3	1	3	3	1	9	2	3	4	47
消防用設備等点検結果報告書	75	57	46	56	67	59	45	60	50	47	55	56	673
防火対象物使用開始届出書	5		2	1	1			1	3	1		1	15
消防訓練実施計画報告書	24	44	24	18	14	28	70	70	31	21	30	31	405
消防訓練実施結果報告書	14	21	41	16	13	21	32	68	48	17	17	36	344
煙火打ち上げ・仕掛け報告書	9	17	1	20	6	22	19	4	5	5	3		111
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届出書	1	6	1	1	1		3		3	1	3	1	21
炉・かまど・ボイラー乾燥設備設置届出書	3					2			1	16	3	1	26
発電・変電・蓄電池設置届出書	1	3		1					2	6	1	3	17
禁止行為の解除承認			1						1	3		1	6
露店等の開設届出書	7	5	1	11	11	6	13	3	6	6	5	1	75
圧縮アセチレンガス等貯蔵届出書		1	3	1	2	1	2			1	3		14
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生する行為	7	14	11	8	7	3	12	20	20	33	18	15	168
計	192	186	154	150	130	158	237	252	199	169	149	167	2,143

◆ 防火管理者講習会実施状況

各年中

年 度	実 施 月 日	受講者数		年 度	実 施 月 日	受講者数
平成22年度	9月16日～17日	80		平成27年度	9月17日～18日	56
平成23年度	9月21日～22日	78		平成28年度	10月 6日～ 7日	72
平成24年度	9月20日～21日	68		平成29年度	9月28日～29日	63
平成25年度	9月19日～20日	55		平成30年度	9月27日～28日	55
平成26年度	9月25日～26日	59		令和元年度	9月26日～27日	51

◆ 建築物の同意件数

令和元年度中

月 別 市町村別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
人 吉 市	1	1	4	4	4	1	4	3	4	1	2	6	35
錦 町				1	1					1			3
相 良 村										1			1
五 木 村													0
山 江 村													0
球 磨 村									1				1
合 計	1	1	4	5	5	1	4	3	5	3	2	6	40
新 築			4	4	4	1	4	2	4	1	2	4	30
増 築				1	1			1	1	2		1	7
改 築													0
用 途 変 更	1	1										1	3
そ の 他													0

◆ 危険物施設・規制事務状況

令和元年度中

施設区分 区 分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
			貯屋 蔵 所内	タ屋 ン ク外	タ屋 ン ク内	タ地 ン ク下	タ簡 ン ク易	タ移 ン ク動	貯屋 蔵 所外	取給 扱 所油	販第一 売種	販第二 売種	取一 扱 所般	
市 町 村	人 吉 市	1	13	17	2	35		15	3	22	1		22	131
	錦 町		4	4	1	8	1	3		13			13	47
	相 良 村			3		3		3		7			1	17
	五 木 村		2					2		3				7
	山 江 村		1			2				3				6
	球 磨 村		1	1		1		1		3				7
合 計		1	21	25	3	49	1	24	3	51	1	0	36	215
規 制 事 務	設 置 許 可							1						1
	変 更 許 可									16			23	39
	水 圧 (水 張) 検 査													0
	完 成 検 査							1		15			23	39
	仮使用承認									14			25	39
	廃 止 届					1				2			2	5
合 計		0	0	0	0	1	0	2	0	47	0	0	73	123

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
届 出 認 可 等	7	9	4	5	3	7	3	7	9	11	2	1	68

消 防 団

幼少年消防クラブ

◆ 消防団の組織及び現有勢力

		人吉市	錦 町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
分 団 数		7	8	8	4	8	6	41
積 載 車		24	25	20	6	8	16	99
小 型 ポ ン プ		25	25	20	6	18	13	107
人 員	定 員	559	350	350	130	200	274	1,863
	実 員	445	374	300	100	151	219	1,589
	団 長	1	1	1	1	1	1	6
	副 団 長	3	2	2	1	2	2	12
	方 面 隊 長	5						5
	分 団 長	7	8	8	4	8	6	41
	副 分 団 長	7			2	8	6	23
	部 長	22	18	18	4	9	20	91
	班 長	88	21	52	26	35	44	266
	団 員	312	324	219	62	88	140	1,145

◆ 年齢別消防団員数

	人吉市	錦 町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
20 歳未満	2	1	3	1	2	2	11
20 歳以上 30 歳未満	71	80	54	21	34	42	302
30 歳以上 40 歳未満	172	172	81	25	78	67	595
40 歳以上 50 歳未満	123	82	102	30	32	89	458
50 歳以上 60 歳未満	38	32	37	11	2	18	138
60 歳以上 70 歳未満	24	7	17	12	3	1	64
70 歳以上	15		6				21
合 計	445	374	300	100	151	219	1,589

◆ 在職年数別消防団員数

	人吉市	錦 町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
5 年未満	75	73	90	20	29	46	333
5 年以上 10 年未満	125	82	58	18	30	36	349
10 年以上 15 年未満	84	101	31	13	34	52	315
15 年以上 20 年未満	96	82	54	8	36	33	309
20 年以上 25 年未満	45	22	44	12	15	37	175
25 年以上 30 年未満	13	12	17	17	5	11	75
30 年以上	7	2	6	12	2	4	33
合 計	445	374	300	100	151	219	1,589

◆ 幼年消防クラブの現況

市町村名	クラブ名称	結成年月日	員数
人吉市	中原こども園幼年消防クラブ	昭和51年7月15日	31名
	泉田こども園幼年消防クラブ	昭和58年7月8日	22名
	おこば保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月11日	24名
	蓬萊保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月13日	16名
	人吉こども園幼年消防クラブ	昭和58年7月15日	19名
	善隣保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月18日	20名
	林保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月19日	20名
	認定こども園さざなみ保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月20日	19名
	あいだこども園幼年消防クラブ	昭和58年7月21日	20名
	こばと保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月23日	18名
	せん月保育園幼年消防クラブ	昭和58年7月28日	11名
	人吉乳児保育園幼年消防クラブ	昭和58年8月30日	15名
錦町	福島保育園幼年消防クラブ	昭和58年5月1日	41名
	サン保育園幼年消防クラブ	平成6年2月15日	24名
	一武こども園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	30名
	木上ひかり保育園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	14名
	西保育園幼年消防クラブ	平成7年1月10日	19名
相良村	なつめ保育園幼年消防クラブ	昭和58年6月13日	15名
	暁保育園幼年消防クラブ	昭和59年2月24日	13名
	四浦保育所あざみ園幼年消防クラブ	平成9年3月12日	8名
山江村	山江保育園幼年消防クラブ	昭和58年8月30日	13名
	草鹿倉保育園幼年消防クラブ	平成8年2月10日	25名
球磨村	こがね保育園幼年消防クラブ	昭和58年6月28日	11名
	神瀬保育園幼年消防クラブ	昭和59年1月17日	4名
五木村	いつき保育園幼年消防クラブ	昭和63年7月28日	10名
計25クラブ			462名

◆ 保育園防火クラブの現況

市町村名	クラブ保育園（所）名	結成年月日	員数
人吉市	泉田こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	21名
	おこば保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	10名
	人吉こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	4名
	こばと保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	10名
	せん月保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	11名
	人吉乳児保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	15名
	善隣保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	20名
	林保育園防火クラブ	平成13年 4月 1日	10名
	認定こども園さざなみ保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	19名
	中原こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	3名
	あいだこども園防火クラブ	平成21年 4月 1日	20名
錦町	福島保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	41名
	サン保育園防火クラブ	平成21年 4月 1日	24名
球磨村	こがね保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	10名
	神瀬保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	4名
相良村	なつめ保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	15名
	四浦保育所あざみ園防火クラブ	平成12年 7月 1日	2名
山江村	章鹿倉保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	23名
計 18クラブ			: 262名

◆ 少年消防クラブの現況

市町村名	クラブ名称	結成年月日	員数
人吉市	西瀬少年消防クラブ	平成28年 7月 3日	15名
計 1クラブ			: 15名

全国統一防火標語

令和２年度 その火事を 防ぐあなたに 金メダル

過去の全国統一防火標語

昭和４１年度	火の始末 人に頼むな 任せるな	平成１１年度	あぶないよ ひとりぼっちにしたその火
昭和４２年度	さあねよう アッの前に 火の点検	平成１２年度	火をつけた あなたの責任 最後まで
昭和４３年度	あなたは 火事の恐ろしさを 知らない	平成１３年度	たしかめて。火を消してから 次のこと
昭和４４年度	今捨てたタバコの温度が７００度	平成１４年度	消す心 置いてください 火のそばに
昭和４５年度	防火三百六十五日	平成１５年度	その油断 火から炎へ 災いへ
昭和４６年度	いま、燃えようとしている火がある	平成１６年度	火は消した？いつも心に きいてみて
昭和４７年度	慣れた火に 新たな注意	平成１７年度	あなたです 火のあるくらしの 見張り役
昭和４８年度	隣にも 声かけあって	平成１８年度	消さないで あなたの心の 注意の火
昭和４９年度	生活の 一部にしよう 火の点検	平成１９年度	火は見てる あなたが離れる その時を
昭和５０年度	幸せを 明日につなぐ 火の始末	平成２０年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
昭和５１年度	火災は人災 防ぐはあなた！	平成２１年度	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっこ
昭和５２年度	使う火を 消すまで離すな 目と心	平成２２年度	「消したかな」あなたを守る 合言葉
昭和５３年度	それぞれの 持ち場で生かせ 火の用心	平成２３年度	消したはず 決めつけしないで もう一度
昭和５４年度	これくらいと 思う油断を 火が狙う	平成２４年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
昭和５５年度	あなたです！火事を出すのも 防ぐのも	平成２５年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
昭和５６年度	毎日が 防火デーです ぼくの家	平成２６年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
昭和５７年度	火の用心 心で用心 目で用心	平成２７年度	無防備は 心に火災が かくれんぼ
昭和５８年度	点検は 防火のはじまり しめくくり	平成２８年度	消しましょう その火その時 その場所で
昭和５９年度	“あとで”より“いま”が大切火の始末	平成２９年度	火の用心 ことばを形に 習慣に
昭和６０年度	怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」	平成３０年度	忘れてない？サイフにスマホに 火の用心
昭和６１年度	防火の大役あなたが主役	令和 元年度	ひとりずつ いいね！で確認 火の用心
昭和６２年度	消えたかな！気になるあの火 もう一度		
昭和６３年度	その火 その時 すぐ始末！		
平成 元年度	おとなりに あげる安心 火の始末		
平成 ２年度	まず消そう 火への鈍感 無関心		
平成 ３年度	毎日が 火の元警報 発令中		
平成 ４年度	点検を 重ねて築く “火災ゼロ”		
平成 ５年度	防火の輪 つなげて広げて なくす火事		
平成 ６年度	安心の 暮らしの中心 火の用心		
平成 ７年度	災害に 備えて日頃の 火の用心		
平成 ８年度	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ		
平成 ９年度	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火		
平成１０年度	気をつけて はじめはすべて 小さな火		

消防本部位置図



編集発行 人吉下球磨消防組合 通信情報課

〒868-0083 熊本県人吉市下林町1番地

TEL : (0966) 22-5241

FAX : (0966) 22-5240

MAIL : honbu@fire119-hitosho.com

ホームページ : <http://www.fire119-hitosho.com/>